

## 顎骨壊死を防ぐために

### これから

ビスホスホネート製剤・抗ランクル抗体薬  
による治療を始める方は

薬の使用前に抜歯などの外科処置や歯周病  
の治療を済ませておくことが大切です。

### 既に

ビスホスホネート製剤・抗ランクル抗体薬  
による治療を行っている方は

むし歯や歯周病にならないよう定期的な  
歯科受診による口腔管理が重要です。義歯  
の管理も行い、顎骨壊死のリスクを低減  
させることが大切です。

### 忘れずに!!

歯科受診の際には、歯科医師に  
骨粗しょう症の薬を服用・使用している

ことをお伝えください。

処方時に受け取るカードやお薬手帳を活用しま  
しょう。

#### 骨粗しょう症治療薬

##### ●●錠を服用の患者さんへ

ご注意ください

##### 服用開始前

●医師と相談の上、必要に応じて抜歯などの歯科  
治療は服用を始める前に済ませてください。

##### 服 用 中

●ブラッシングなどで口腔内を清潔に保つてくだ  
さい。

●歯科検診に行くなど口腔内を定期的にチェック  
してください。

●抜歯などの治療はできるだけ受けないように  
してください。

●あごの痛み、歯のゆるみ、歯ぐきの腫れ、な  
どの症状がある場合は医師、歯科医師、  
薬剤師にご相談ください。

○●錠は骨粗しょう症の骨を丈夫にし、骨折を防ぐ  
ための薬です。  
ご自分の判断で、服用を中止しないようにしてくだ  
さい。

#### 歯科・口腔外科を受診される場合は

このカードを先生にご提示ください。

#### 歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート製剤○○を服用中、また  
は服用されたことがあります。

ビスホスホネート製剤治療薬において顎骨壊死・  
顎骨骨髄炎があるおそれがありますので抜歯等の  
侵襲的歯科処置はできるだけ避けてください。

骨粗しょう症の治療のため  
○○錠を服用しています。

飲み始めた日 年 月 日

中断・終了した日 年 月 日

病医院・薬局名

お薬の服用を中断・終了された後も大切にをお持ち  
ください。

〇〇製薬株式会社

ビスホスホネート製剤や抗ランクル抗体薬は  
骨粗しょう症の治療や予防に有用な薬です。  
主治医の指示通りに継続して服用・使用する  
ことが大切です。

顎骨壊死に対する積極的な治療法はないため  
予防に努め、万一発症した場合は主治医の  
判断のもと一時的に使用を中止し、かかりつけ  
歯科医と連携を取りながら重症化を防ぐ治療  
を行います。

不明な点は、主治医あるいはかかりつけ歯科  
医にご相談ください。

顎骨壊死を防ぐために  
かかりつけ歯科医を  
持ちましょう!



### ●お問い合わせ先

# 骨粗しょう症の 患者さんへ

顎骨壊死 を  
引き起こさないために

医科 と 歯科 が連携して  
患者さんを守っていきます。



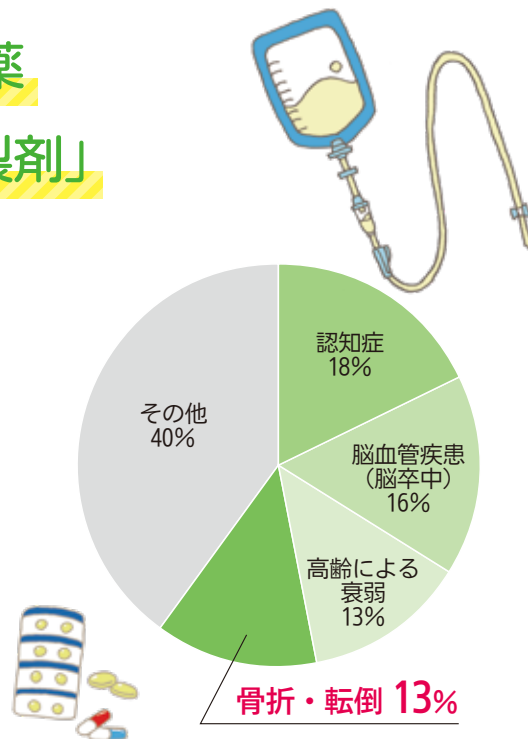
三 重 県 ・ 三重県医師会  
三重県薬剤師会 ・ 三重県歯科医師会

要介護に  
ならないために

## 骨粗しょう症の治療薬 「ビスホスホネート製剤」

厚生労働省の2019年国民生活基礎調査によると  
「介護が必要になった原因」の4位が  
**骨折・転倒**でした。

骨粗しょう症の治療でもっともよく使われる薬に、  
ビスホスホネート製剤があります。  
この薬を使用すると椎体や大腿骨の骨折が減ることが  
分かっています。これらは寝たきりや要介護に直接  
つながる骨折のため、骨折予防として多くの方に  
用いられています。



## 顎骨壊死 とは

あごの骨の組織や細胞が局所的に死滅し、  
骨が腐った状態になる病気です。

あごの骨は薄い粘膜（歯肉）で覆われているだけなので、  
粘膜の損傷、歯周病、抜歯などで骨が容易に露出します。  
口の中には感染源となる細菌がたくさん存在しています。  
露出した骨に細菌感染が起こると顎骨壊死が引き起こさ  
れます。

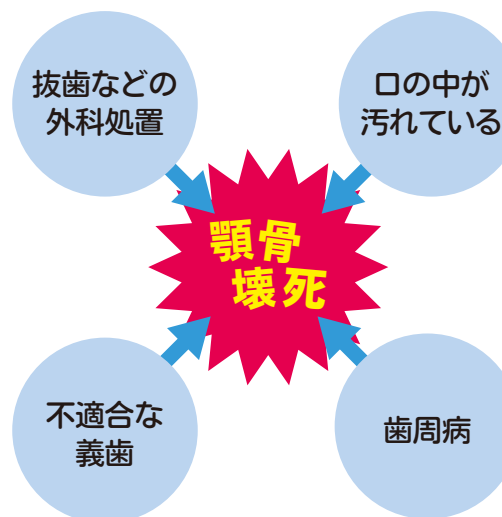
## 顎骨壊死 の原因



## 顎骨壊死と 骨粗しょう症治療薬との関連

骨粗しょう症治療に使われるビスホスホネート製剤や抗ラ  
ンクル抗体薬などの「骨が壊されるのを抑える薬」は、骨  
折のリスクを低減するほか、がんの骨転移抑制、関節リウ  
マチでは関節の骨破壊の進行抑制などの効果が期待できる  
ことから、広く用いられています。  
その一方で、顎骨壊死に関係することがわかっています。

ビスホスホネート製剤や抗ランクル抗体薬の使用中に  
下記の要因が一つでも加わると  
顎骨壊死を発症する可能性があります。



顎骨壊死は一度発症すると  
非常に治りにくい病気です。  
なにより予防が大切です！

